

## 幸せの丘ありあんす



幸せの丘ありあんす外観(宗家日本印相協会本社)

## 人と人が交わる。パワースポット

### ❏ ありあんすの建物形状

1986年にオープン。印鑑をモチーフにした建物は、正面から見ると富士山のような円すい形で、横から見ると「鳳凰」が飛び立とうとしている姿に見える。設計は京王プラザホテルなどを手掛けた日本設計、館内の照明は東京タワーやレインボーブリッジのライトアップなどを担当した世界的照明デザイナー石井幹子さん。

会が、山梨の誇る産業「手彫り印鑑」の魅力を発信するため、約30年前に開館しました。「ありあんす」は英語の「アライアンス＝同盟、協調」が語源です。「縁、人と人との結び付き」という意味が込められています。印鑑を通してお客さまの開運を願うパワースポットとして、また観光拠点として山梨の活性化に向けた役割も果たしたいと考えています。

### ―館内にある施設概要は。

貴重な象牙の美術品を多数展示している「象牙美術館」をはじめ、パターゴルフコースなど県内外のお客さまが楽しめます。特に、姓名鑑定コーナーと5年前にリニューアルした展望レストラン「ダイヤモンドテーブル」は好評です。鳳凰の間にそびえる高さ11坪の女神像「ルリエ」は、幸運の象徴であるパワースト―



久保田 孝社長

### ❏ 会社情報

◎会社名：株式会社宗家日本印相協会、幸せの丘ありあんす◎住所：甲府市上曾根町4011  
◎創業：1967(昭和42)年◎従業員数：50人

ン「ラピスラズリ」をモチーフにしている、「恋人の聖地」に選定されています。

―10年目を迎える「クリスマスナイトフライト&ナイトビューディ